

令和 6 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価
(及び地域公共交通計画の評価結果) 概要 (全体)

武豊町地域公共交通会議 (武豊町)

平成 2 1 年 4 月 3 0 日設置

令和 4 年 4 月 武豊町地域公共交通計画策定
(計画期間：令和 4 年 4 月～令和 9 年 3 月)

評価対象の地域公共交通確保維持事業
・ 地域内フィーダー系統確保維持国庫補助金

1.【Plan】協議会等を目指す地域公共交通の姿①

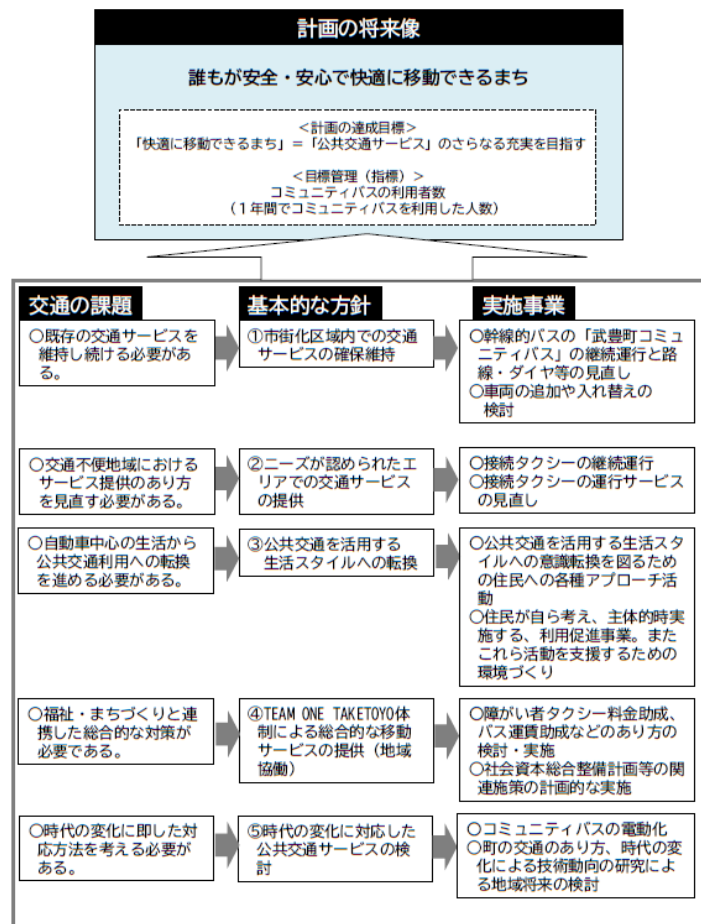
【武豊町の概要】

人口：43,535人（※令和2年国勢調査）

鉄道：JR武豊線（武豊駅）、名鉄河和線（上ヶ駅、知多武豊駅、富貴駅）

【計画策定の背景】

旧網形成計画が令和3年度末をもって計画期間満了。旧網形成計画の施策進捗状況を評価すると共に、武豊町の現状実態や住民ニーズ、上位関連計画などを確認し、地域公共交通に関する課題・問題点を抽出した。この課題・問題点を解決する施策を検討し、令和4年4月に交通計画を策定した。（計画期間：令和4年度～令和8年度（5カ年））



2.【Do】目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組②

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察	基本的な方針 (地域公共交通計画内)
★地域交流路線基幹バス (コミュニティバス赤・青ルート)の運行 ※国の補助路線(地域間幹線系統・フィーダー系統)	コミュニティバスの確保維持	・前年度の運行に比べて利用者が約22%増加(77,094人⇒93,837人) ・赤ルート・青ルートともに、過去最多の利用者数を記録 ・安全安心な車内環境のため、抗菌抗ウイルスコーティングを施工(令和5年12月) ・老朽化したバス停留所看板を更新 ・満足度や要望等把握のため、令和5年9月に利用者アンケートを実施し、アンケート結果をまとめたものを車内掲示した。	・令和4年10月の青ルート見直しや、車内環境や待合環境の整備で安全安心な運行を目指すことにより、利用者数の増加に繋がった。 ・今年度の利用者アンケートに加え、来年度は住民アンケートを実施する。アンケート結果については、将来の運行や次期計画策定時の基礎資料とする。 	①市街化区域内での交通サービスの確保維持
	路線・ダイヤ等 の見直し	・令和4年10月より青ルートを町北部まで延伸し、ルート・ダイヤを見直した。 ・赤、青ルートともに利用者の増加により、ダイヤの遅れが発生してきたため、運行事業者よりダイヤ見直しの申し出があった。(令和5年12月会議) - 安全安心で安定した運行のため、運行事業者との協議により、ダイヤを見直した。(令和6年4月)	・新たな駅や医療機関等と接続するルートの見直しで路線の機能・役割とサービス水準を上げたことにより、利用者数が増加している。 ・ダイヤの見直しにより、安全安心で安定的な運行および運転手休憩時間の確保に繋がった。	
	車両の追加や入れ替えの検討	・令和5年9月より電動バスへの車両更新(青ルート) ・今後についても、利用状況等を確認しつつ、電動バスへの車両更新も含め検討 	・令和5年9月より電動バスへの車両更新(青ルート)では、ゼロカーボンシティ・SDGs等の環境対策の推進、2枚ドア化による遅延防止および経年劣化等に対する安全性の確保に繋がっている。	

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組②

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察	基本的な方針 (地域公共交通計画内)
地域内移動サービスである接続タクシー制度の運行	接続タクシー制度の内容見直し	- 令和4年10月に、タクシーの「ドアtoドア」を生かし、利用可能範囲を「接続タクシー停留所⇄指定のコミュニティバス停留所」から「自宅⇄最寄りのコミュニティバス停留所」へ変更した。(交通不便地域対策) - 満足度や要望等把握のため、令和5年9月に登録者アンケートを実施 	- 大きな増加はないものの、新たな利用が見られ始めている。 - 今後も住民団体と協力・作成したチラシも活用し、高齢者の集会(憩いのサロン等)に出向き、制度の継続的な周知を図っていく。 - 今年度の利用者アンケートに加え、来年度は住民アンケートを実施する。将来の制度の在り方や次期計画策定時の基礎資料とする。	② ニーズが認められたエリアでの交通サービスの提供
公共交通を活用する生活スタイルへの転換	コミュニティバス・接続タクシー無料乗車券交付(町支援に基づく)	- 令和元年10月より実施 65歳以上の自動車免許返納者および70歳以上の高齢者に対する無料乗車券を交付(令和5年度新規登録者数: 259人 累計: 2,537人) - 令和6年度無料乗車券利用者延べ人数 68,267人(全体の約7割) ※令和5年度: 51,903人(全体の約7割)	高齢者の外出支援による健康促進、交通安全、SDGs等の環境対策の推進が図られている。 	③ 公共交通を活用する生活スタイルへの転換
	情報発信の取組 ・町広報等による情報発信 ・時刻表の配布 ・利用者アンケート結果の車内掲示 ・乗車70万人の達成 ・憩いのサロンでの情報発信	- 町広報紙面を活用した「コミュバスニュース」(不定期)により、情報発信(令和5年11月号) - 時刻表を公共施設で常時配布 裏面には、周辺の電車・バスの路線図を掲載し、広域的な交通ネットワークを紹介 - 満足度や要望等把握のため、令和5年9月に利用者アンケートを実施し、アンケート結果をまとめたものを車内掲示(再掲) - コミュニティバスが乗車70万人を達成(令和6年2月・3月会議報告) - 高齢者の集いの場である憩いのサロン(全14会場)に出向き、コミュニティバスや接続タクシーについてPRを図った。	- コミュニティバスの情報について、広く町民に対して情報発信した。 - 周辺の電車・バスの路線図を掲載したことにより、公共交通利用への転換、新規利用者の獲得に繋がったものと考えられる。 - 憩いのサロンでのPR後、1会場より無料乗車券および接続タクシー登録の出張窓口の依頼があり、実施した。 - 今後も広く周知し、利用いただけるように努めていく。  	

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組③

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察	基本的な方針 (地域公共交通計画内)
公共交通を活用する生活スタイルへの転換	武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会との活動・支援	- 産業まつりでブース出展し、PRおよびコミュニティバス・接続タクシーの認知度や利用有無等に関するアンケート調査実施 - 主にコミュニティバス停留所付近における、おすすめスポットの募集（今後、集約し、利用促進事業への活用を予定） - 啓発として、町マスコットキャラクター「みそたろう」のオリジナル缶バッジ製作	産業まつりによるアンケートでは、コミュニティバスは知っているが、無料乗車券の制度を知らない等の課題のほか、運行に関する要望も見受けられた。本アンケートについても今後の基礎資料としていく  	③ 公共交通を活用する生活スタイルへの転換
	Google Maps 等への情報提供の整備	令和6年4月の赤、青ルートダイヤ改正前にGTFISデータを修正し、変更後の情報の閲覧をGoogle Maps等で遅滞なく検索可能とした。	Google Maps等での情報の閲覧が可能となる事により、利用者の利便性が向上する。利用者の利便性向上により、公共交通を活用する生活スタイルへの転換の一助となる。	
	交通系ICカード決済端末の導入およびバスロケーションシステム等の導入	- 交通系ICカード決済端末導入については、令和6年11月に導入 - バスロケーションシステム等については、令和6年12月に導入	- 交通系ICカード決済端末の導入により、利便性向上およびキャッシュレス決済の推進に繋がる。 - バスロケーションシステム等の導入により、運行状況等が確認でき、利便性向上に繋がる。	
移動サービスの検討・関連施策の計画的な実施	関連施策の計画的な実施	- 土地区画整理事業に伴う、駅前環境整備事業の継続検討 - 町役場移転に伴う、ルートやダイヤ等、公共交通移動に関する継続検討	- 土地区画整理事業を通し、駅前でのにぎわいづくりや自転車を活用したまちづくりの展開を引き続き検討していく。 - 町役場移転に伴うスケジュールについて関係部署と確認しつつ、検討していく。	④ TEAM ONE TAKETOYO 体制による総合的な移動サービスの提供

2. 【Do】 目標達成に向けた公共交通に関する主な具体的取組⑤

● 地域公共交通計画に基づく各種事業の実施

取組名称	取組の概要	実施結果	実施結果の考察	基本的な方針 (地域公共交通計画内)
時代の変化に対応した公共交通サービスの検討	コミュニティバス電動化	本町では、令和5年9月に初めて電動バスを導入した（青ルート車両更新）（再掲） 	- ゼロカーボンシティ・SDGs等の環境対策の推進、2枚ドア化による遅延防止および経年劣化等に対する安全性の確保に繋がった。 - 赤ルートにおいても、車両開発に関する情報も注視しつつ、次期更新時での電動化を検討する。	⑤時代の変化に対応した公共交通サービスの検討
	交通のあり方などの地域将来の検討	- 半田市との接続に加え、常滑市コミュニティバス「グリーン」が令和4年10月より名鉄知多武豊駅に乗り入れ、広域ネットワークが形成されている。 - 常滑市コミュニティバス「グリーン」について、当初は名鉄知多武豊駅のみに停車していたが、地域等の要望もあり、常滑市と調整し、令和6年8月に町内の停留所を3箇所新設した。 ※「上山停留所」 「北中根・桜ヶ丘停留所」 「武豊中央公園」 	- 広域ネットワークの形成や強化により、地域の移動サービスの枠が広がっている。 - 町内を走行しているため、「グリーン」の運行に関する問い合わせもいただくことから、住民の関心も高いものと思われる。 - 町内停留所の増設は、地域等の要望もあったことから、移動サービスの強化に繋がった。 - 引き続き、情報共有等を図り、広域的な連携を図っていく。 	

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

●武豊町地域公共交通計画の評価に係る事項（令和4年4月計画策定）

指標	内容	前年度	今年度	評価
地域交流路線基幹バスの利用者数	1年間で地域交流路線基幹バスを利用した人数 目標：R7年度時（4月～3月年度）72,000人	R5年度（R4/10～R5/9） 赤：50,361人 青：26,733人 計：77,094人 （前年比9,772人増）	R6年度（R5/10～R6/9） 赤：60,890人 青：32,947人 計：93,837人 （前年比16,743人増）	利用者数は増加し続けており、交通計画の終了時点（R7年）の目標数72,000人を超える利用を達成。

●令和6年度 生活交通確保維持改善計画で定めた目標設定と利用実績評価＞

※計画目標はコロナ禍の影響を考慮して設定

令和6年度 （R05.10～R06.9）	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 確保改善 計画目標	令和6年度 実績	達成 状況
幹線系統 赤ルート	41,667人	50,361人	44,500人	60,890人	達成
フィーダー系統 青ルート	25,655人	26,733人	26,500人	32,947人	達成
バスネットワーク全体	67,322人	77,094人	71,000人	93,837人	達成
接続タクシー	606人	590人	前年比増	623人	達成

●目標値についての評価（考察）

- ネットワーク全体での利用者数は拡大しており、前年度に引き続き、過去最多の利用となった。
- 地域内フィーダー系統の青ルートだけに着目すると、利用者数が令和5年度の26,733人に対して、令和6年度は32,947人と、6,214人増加し、過去最多の利用者数となった。
- 地域内移動サービスである接続タクシーは大幅な増加はしていないが、新たな利用が見られ始めている。今後も住民団体と協力・作成したチラシも活用し、高齢者の集会（憩いのサロン等）に出向き、継続的な周知活動が必要である。

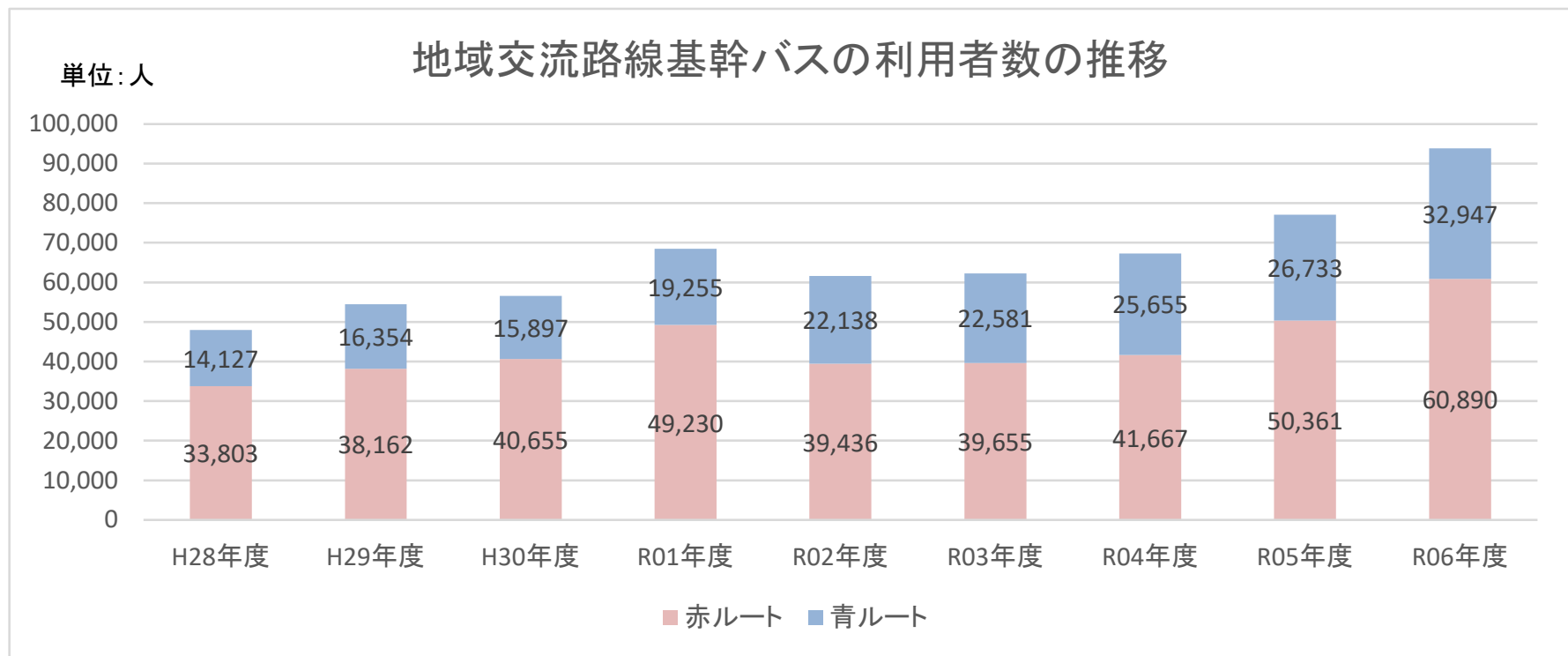
●事業収支面に関する評価

- 交通計画上での事業収支面の評価は、財政投入額が大幅に拡大しないかをモニタリングすることとし、具体数値設定はしていない。高齢者に対する無料乗車券交付事業の導入による高齢者利用割合の増加から、利用者負担の運賃収入は減少したものの、武豊町からの無料乗車分の補填計上により、全体収支は利用者増を反映し、改善している。R6年度もR5年度に比較して地域交流路線基幹バスの運賃収入は増加している。

3.【Check】計画の目標の達成状況とその理由についての考察

●地域交流路線基幹バスの利用者数の推移（10月～9月年度）

- ・平成27年度に4ルートから現行の2ルートに再編。
- ・平成28年度の再編以降は増加基調にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度の全体利用者数は大きく減少した。
- ・コロナ禍以降は徐々に回復傾向となり、過去最多であったR5年度の数値77,094人を令和6年度は更に上回り93,837人となった。赤、青ルート共に利用者数が増加し、過去最多となっている。
- ・青ルートの見直し（令和4年10月）や半田市に加え、常滑市コミュニティバスとの接続による影響が大きいと想定されるが、無料乗車対象の割合が多いため、高齢化も影響があるものと考えられる。



4.【Act】計画目標の達成に向けた今後の取組方針 の作成

<計画目標の現在の到達点>（フィーダー個別・地域交流路線基幹バス全体での評価）

- ・フィーダー系統の青ルートについては、コロナの影響を受け、月利用者数がピーク時の約7割まで落ち込んだが、利用促進事業（生活の足を考える会）、町広報紙面への掲載等の取り組みにより利用者は回復し、令和4年10月のルート見直しもあり、令和6年度は令和5年度に続いて過去最多の利用者数となった。
- ・赤ルートを含む地域交流路線基幹バス全体でも、令和6年度利用者数は、過去最多の数値を達成している。

■ ネットワークの拡大に関する取組

- ・常滑市コミュニティバスグルーンの名鉄知多武豊駅への乗り入れが令和4年10月に開始。時刻表も半田市や常滑市等を含む、周辺の電車・バスの路線図を掲載し情報周知を進める。

■ 公共交通の維持に関する課題（事業収支の捉え方）

- ・高齢者の安全安心な外出支援等を目的として、無償化（無料乗車券の発行）により、地域交流路線基幹バスの見かけ上の収入（運賃収入）は大きく減少したが、住民の足としてサービスの確保維持が必要である。
- ・利用者数の増加や社会的効果などのクロスセクターベネフィットの考慮からも、公共交通の必要性は認められていると考える。公共交通の表面的な収支に捉われることなく、社会的価値を地域で共有できるよう、適切な情報発信や対応が重要である。
- ・地域交流路線基幹バスの利用者の令和6年度実績は、過去最高を計測し、交通計画の目標値72,000人も計画期間を残して達成しているが、利用者増による運賃収入拡大を進め、事業維持を引き続き目指す。

<今後の取組方針>

利用者数の拡大を目指したネットワーク全体の利用促進活動の実施（交通計画事業の実施）

- ・地域公共交通計画に位置付けた各種事業の計画的な実施を目指す。ネットワーク全体での利用者数は、過去最多を記録し、交通計画の目標を達成した。今後も、半田市や常滑市等の広域的なネットワークと乗継方法などの情報発信を継続し、エリア全体での公共交通利用者数の増加に繋がるように努めていく。

公共交通の維持に関する課題への対応

- ・地域交流路線基幹バス・接続タクシーの実績報告や当該評価結果を町HPを通して公開し、住民への情報発信を継続実施する。加えて、住民団体である武豊町コミュニティバス・生活の足を考える会の定例会の機会などを活用し、公共交通に対する住民ニーズの確認および利用促進イベントの協働実施、公共交通の社会的効果の周知等を行うことで、住民における公共交通に関する意識向上および利用促進を目指す。
- ・利用者の増加に伴い、立ち席乗車による車内事故防止や乗りこぼし防止の観点から、利用状況を注視する。

5. 直近2年間の二次評価の活用・対応状況

前回の二次評価結果 (6年3月21日通知)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
●令和5年度二次評価 (R6/3/21通知) <評価できる取組> ・路線再編や電気バスの導入といったハード施策からソフト施策まで多くの取組が実施されており、これらの取組が実績にも現れていることを評価します。 ・コミュニティバスぬり絵の車内掲示といった公共交通ファンの増加が期待される取組を実施されていることを評価します。 ・コミュニティバスの年末年始運行の決定や接続タクシー制度の見直しなど、住民要望やワークショップでの意見等を反映した取組が実施されていることを評価します。 <期待する取組> ・接続タクシーについては、困っている人を減らすことを目指し、どのような利用者がどのくらいの距離で利用されているかなど詳細分析を進め、接続タクシーを利用してもらいたい層に利用してもらっているか、そのような層に利用を促しているかを確認し、周知や利用促進に努められることを期待します。 ・運転免許返納者・70歳以上の高齢者に対する無料乗車券の交付については、高齢者の外出が増え、健康増進や経済効果につながったなどクロスセクター効果の把握や分析についても検討されることを期待します。 ・公共交通のメリットに係る情報発信については、公共交通を利用してもらいたい層は幅広いため、広報誌を見る層以外にも届くような取組を期待します。 ・広域的な交通ネットワークの確保維持について、引き続き、周辺市町と連携しながら取組を進められることを期待します。	●接続タクシー制度について ・地域内移動サービスである接続タクシーは大幅な増加はしていないが、新たな利用が見られ始めている。 ・令和5年度の登録者アンケートと令和6年度の住民アンケートも基礎資料とし、利用状況を確認しつつ、将来に向けて利用しやすい制度となるように、引き続き検討する。 ●無料乗車券の交付によるクロスセクター効果の把握や分析について ・令和6年度実施の住民アンケートにて、コミュニティバスや接続タクシーを利用することにより感じられた変化(安全面や健康面等)を尋ねることとしている。 ●公共交通のメリットに係る情報発信について ・令和6年7月1日に武豊町の公式LINEが大幅にリニューアルされた。今後は利用者が多いLINEも活用し、情報発信をする。 ●広域的な交通ネットワークの確保維持について ・地域等から要望が多かった、常滑市コミュニティバス「グリーン」の停留所について、常滑市との調整により3か所新設した。今後も周辺市町との連携していく。	●交通会議でのPDCA ・各アンケート調査をふまえ、住民ニーズを反映した新しい地域公共交通計画の策定に向けた検討を進める。 ・計画の見直しと左記の事業評価を通して必要に応じた事業改善をする。 ●コミュニティバス・接続タクシー事業 ・コミュニティバスについては、過去最多の利用者数となったが、利用状況を確認しつつ、利用促進を図る。 ・接続タクシーについても、利用状況を確認しつつ、高齢者の集会等に出向き、継続的な周知活動を実施する。 ・各アンケート調査結果を踏まえ、今後の取組み、将来の在り方について検討していく。 ●公共交通のメリットに係る情報発信 ・現状は限られた情報発信ツールであるが、幅広い層に対して情報発信ができるように努める。 ●周辺自治体等との連携 ・引き続き周辺市町と広域的な交通ネットワークを意識した情報交換や連携を図る。

前々回の二次評価結果 (5年3月10日通知)	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
●令和4年度二次評価 (R5/3/10通知) <評価できる取組> ・ 接続タクシーの運賃や利用法などの改善を図ったこと、青ルートの延伸・ダイヤ改正、保育園の遠足にバスを活用したこと、感染症対策の周知（ポスター掲示、抗ウイルスコーティング）、GTFSデータを作成して提供したことを評価します。 ・ 憩いのサロンや生活の足を考える会とともに公共交通の利用に向けた説明を行ったり、停留所のベンチ製作をしたりしたことを評価します。 <期待する取組> ・ 青ルートの見直しおよび接続タクシーの制度の見直しについて効果や影響について検証し、必要な改善および効果的な周知について検証されるよう期待します。 ・ 知多武豊駅に乗り入れる周辺自治体のコミュニティバス路線の動向について、地域間の交通ネットワーク強化を意識した情報交換、連携へとつながることを期待します。 ・ 駅前環境整備事業に伴う道路の拡幅等コミュニティバス運行に関連する計画を注視しつつ、今後の取組を進められることを期待します。 ・ 地域住民との連携を深め、SNSなど新しい情報発信の方法について幅広く検討し、公共交通に携わる関係者が観光・福祉・商業など多方面に広がることを期待します。	●青ルートおよび接続タクシー制度の見直し ・ 青ルートについては、見直し後の利用が増え、過去最多の利用者数となった。 ・ 接続タクシー制度の見直しについては、減少したものの、新たな利用が見られ始めている。 ●周辺自治体のコミュニティバス路線の動向について ・ 周辺自治体と交通ネットワーク強化を意識した情報交換や連携を図った。 ・ 時刻表裏面には、周辺の電車・バスの路線図を掲載し、広域的な交通ネットワークを紹介した。 ●駅前環境整備事業に伴う道路の拡幅等について ・ 関連部署と計画の進捗状況等について、情報共有を図った。 ●SNSなど新しい情報発信の方法について ・ 町広報紙面を活用した「コミュバスニュース」(不定期)により、地域公共交通のメリットについて情報発信をした。 ・ 電動バスのお披露目会の際には、関係者だけではなく、住民に対しても広くPRするために、町HPIに加え、SNSでも開催について情報発信した。	●交通会議でのPDCA ・ 左記の事業評価や各種事業の取組みについて、相互に共有し、必要に応じて事業改善を行う。 ●コミュニティバス・接続タクシー事業 ・ コミュニティバスについては、過去最多の利用者数となったが、利用状況を確認しつつ、利用促進を図る。 ・ 接続タクシーについても、利用状況を確認しつつ、高齢者の集会等に出向き、継続的な周知活動を実施する。 ・ コミュニティバス利用者および接続タクシー登録者へのアンケート結果を踏まえ、今後の取組みについて検討していく。 ●周辺自治体等との連携 ・ 引き続き、交通ネットワーク強化を意識した情報交換や連携を図る。 ・ 武豊町内へのグリーン停留所追加設置要望に対しても検討していく。 ●コミュニティバス運行に関連する計画について ・ 関連する計画を注視しつつ、今後の取組みについて検討していく。 ●SNSなど新しい情報発信方法 ・ 既存の情報発信ツールだけではなく、時代の変化を意識した情報発信に努め、公共交通について広くPRする。

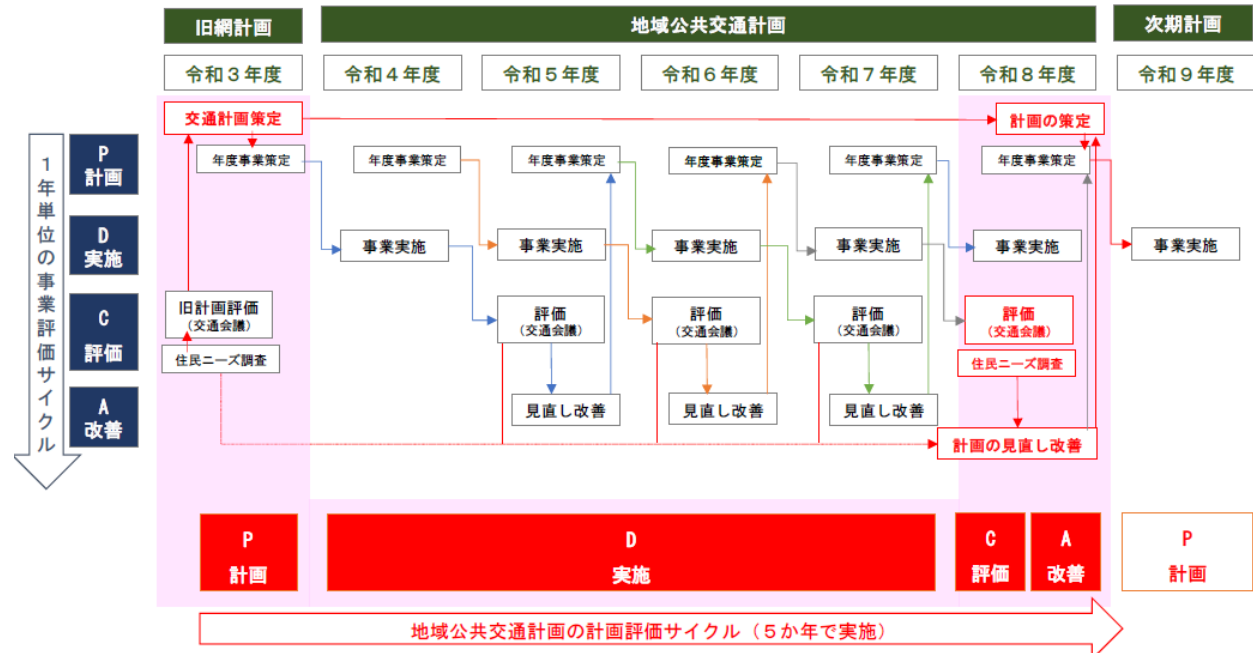
6. 計画・評価の推進体制

<PDCAの進め方>

- ・地域公共交通計画の進行管理は、計画期間の5カ年を通してPDCAを行う。
- ・各年度は、地域公共交通会議において各年度事業の計画を設定し、事業の進捗状況と計画の数値目標である利用者数等を通して、計画の進捗を評価する。

<協議会の開催状況>

- ・年間3回のペースで開催。
- ・交通計画を策定し、年度事業の協議、事業進捗の評価・確認を進めている。



回数（実施日）	進捗管理に関する主な報告・協議事項	主な実施内容
第45回会議 （令和5年12月8日）	・令和5年度の自己評価案および地域公共交通計画の評価結果案について	令和5年度の自己評価および地域公共交通計画の評価結果案の協議
第46回会議 （令和6年3月8日）	・コミュニティバス運行ダイヤの変更について ・令和6年度事業計画案の協議 ・公共交通会議規約の改正について	・利用者増に伴う運行ダイヤの見直し ・令和6年度の事業計画に係る協議 ・協議運賃の取扱い変更にかかる規約の改正
第47回会議 （令和6年6月24日）	・令和5年度の事業報告・決算報告 ・令和4・5年度確保維持改善事業の二次評価 ・住民アンケートの調査計画（案） ・令和7年度確保維持改善計画（案）	・二次評価結果の共有 ・令和7年度の確保維持改善計画案の協議と地域間幹線系統と地域内フィーダー系統の目標設定に係る協議